

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第3,4学年 第5,6学年	保健・306 保健・506	新編 新しいほけん 3・4 新編 新しい保健 5・6
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<p>○ 「健康な生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～手や衣服の汚れを調べる実験結果を基に体を清潔にする理由を考えたり、身の回りの環境についての問題点や改善点を考え、話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～自分の身長の変化や発育の個人差について調べたり、思春期の悩みに対する友達へのアドバイスを考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～心と体がどのように影響し合っているかを自分の経験を基に考えたり、自分に合った不安や悩みへの対処方法について、学習したことを基に考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「けがの防止」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～事故やけがの要因をデータや自分の経験を基に考えたり、けがの簡単な手当の実習を行い、自分でできる手当について考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「病気の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～喫煙による害についてデータを基に説明したり、地域では、どのような保健活動が行われているのかを調べ、自分や家族の利用の仕方について考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～健康な生活の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べる・解決する」で2人の生活の仕方の事例を比較し、健康な生活の仕方について考え、「深める・伝える」で生活を見直した子どもがどのように変わるのかを考え話し合うなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 第5,6学年～けがの防止の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べる・解決する」で事例を基に危険を回避するための対策について考え、「深める・伝える」で交通事故を防ぐための環境整備の例から工夫されていることについて話し合うなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～入学してからの体の成長について学習した後、体が発育する時期や変化する量の個人差について考える学習活動を位置付け、思春期の体の変化についても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～事故やけがが起こる原因について学習した後、その原因を人</p>			

	<p>の行動と環境に分けて考える学習活動を位置付け，交通事故や犯罪被害，自然災害についても同様の学習活動ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。 第3,4学年～「健康な生活」は，20ページ，「体の発育・発達」は，17ページであり，総ページ数は46ページで，前回とほぼ同様となっている。 第5,6学年～「心の健康」は，16ページ，「けがの防止」は，24ページ，「病気の予防」は，33ページであり，総ページ数は78ページで，前回より約5%減となっている。</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 授業の導入で児童が自分の健康課題に気付き，問題意識を高めることができる資料を提示したり（全学年），各項目末に学習内容と関連のある資料を掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 習得した知識を基に考え，筋道を立てて表現する活動を示したり（全学年），学習したことをまとめ，自分の生活やこれからの学習に生かすための活動を示したり（全学年）するなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ より多くの人に見やすく読み間違えにくいデザインの文字にしたり（全学年），色覚の多様性に配慮したり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，動画やシミュレーションを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については，「スポーツ選手と食事」で，「レバンガ北海道」の管理栄養士と橋本選手の話と食事，「けがの防止」で地下鉄駅ホームドアの設置，「喫煙の害と健康」で「喫煙制限区域」の表示，「地域の保健活動」で北海道地震（2018年）での看護師の様子を扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，「コンピュータを学習に生かそう」で，活用場面や情報モラルについて掲載するとともに，「資料」で，健康上の注意点などについても学ぶことができる工夫がなされている。</p> <p>○ 小・中連携については，資料「はってん」で，「胸骨圧迫とAED」，「エイズ」，「がんについて知ろう」，「たばこの主な有害物質」，「医薬品の使い方」を掲載し，系統性のある指導ができる配慮がなされている。</p>
本市児童の 学習の状況等	<p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう，「気づく・見つける」，「調べる・解決する」，「深める・伝える」，「まとめる・生かす」などの学習段階を設定し，課題の解決に向けた活動場面を設ける工夫がなされている。</p> <p>○ 日常生活と関連することができるよう，「まとめる・生かす」で，学習したことをまとめるとともに，生活を見直す，もっと調べたいことを考えるなど，児童自身の生活に生かすための記述欄を設ける工夫がなされている。</p> <p>○ 新たな健康課題へ対応することができるよう，「心の健康」で，不安や悩みへの対処方法を掲載するとともに，資料「はってん」で，「新型コロナウイルス」，「がんについて知ろう」を掲載し，理解を深める配慮がなされている。</p>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		4・大日本	第3,4学年 第5,6学年	保健・307 保健・507	新版 たのしいほけん 3・4 新版 たのしい保健 5・6
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<p>○ 「健康な生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～自分の1日の生活を振り返り、健康な生活の仕方について考えたり、身の回りの環境の整え方について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～1年生から4年生までの自分の身長の変化を調べたり、学習したことを基によりよく成長するための生活の仕方を話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～心と体のつながりをこれまでの経験を振り返って考えたり、不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を行ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「けがの防止」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～予測される危険やけがを防ぐ安全な行動について考えたり、けがの簡単な手当の実習を行い、けがをしたときの例示を基に実際の処置の仕方を考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「病気の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～病気になった要因について自分の生活を振り返って考え、話し合ったり、の学習したことを基に虫歯や歯周病を予防するための生活習慣について考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～健康な生活の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「話し合おう」で1日の生活リズムと運動、食事、休養・睡眠とのかかわりについて話し合い、「活かそう」で自分の生活リズムを整えるために工夫したいことを書くなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 第5,6学年～けがの防止の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「考えよう」で事例を基に予測される危険や犯罪被害を防ぐための安全な行動について考え、「活かそう」で学習したことを活用して身近な場所や場面での危険を避ける安全な行動や環境づくりについて考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～1日の生活の仕方や健康によい生活環境について学習した後、自分の生活を振り返り、健康に過ごすための生活の仕方について話し合う学習活動を位置付け、生活リズムを整えるための工夫ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～生活の仕方と病気の予防について学習した後、長期間にわたる喫煙が体に与える影響について考える学習活動を位置付け、</p>			

	<p>飲酒や薬物乱用の影響についても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3,4学年～「健康な生活」は、16ページ、「体の発育・発達」は、18ページであり、総ページ数は46ページで、前回より約15%増となっている。 第5,6学年～「心の健康」は、12ページ、「けがの防止」は、20ページ、「病気の予防」は、26ページであり、総ページ数は70ページで、前回より約21%増となっている。</li> </ul>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の扉に児童が学習課題に気付くことができる簡単なゲームを掲載したり（全学年）、学びを広げて深めることができるよう学習内容に関連した「ミニ知識」を示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 考える、話し合う、調べるなどの活動を通して課題を解決する活動を示したり（全学年）、学習でまとめたことを活用し、深める活動を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）、色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、配色に配慮したり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域素材については、「ちいきで」マークを用い、地域で取り寄せたい活動を取り上げる工夫がなされている。</li> <li>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、「はってん」マークを用い、パソコンやスマートフォンの正しい使い方や、インターネットと犯罪被害などについて学ぶことができる工夫がなされている。</li> <li>○ 小中連携については、「もっと知りたい！」で、「AED」、「エイズ」、「がんの予防」、「たばこのけむりの害」、「薬の正しい使い方」を掲載するとともに、中学校での学習内容を明記し、系統性のある指導ができる配慮がなされている。</li> </ul>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう、「つかもう」、「話し合おう」、「考えよう」、「活かそう」などの学習段階を設定し、課題の解決に向けた活動場面を設ける工夫がなされている。</li> <li>○ 日常生活と関連することができるよう、「活かそう」の学習場面で、日常的な事柄や地域のことを扱い、日常生活の課題を意識させ、解決させようとする工夫がなされている。</li> <li>○ 新たな健康課題へ対応することができるよう、「心の健康」で、不安や悩みへの対処方法を掲載するとともに、「感染症の予防」で、「新型コロナウイルス」を掲載している。また、「もっと知りたい！」で、「がんの予防」を掲載し、理解を深める配慮がなされている。</li> </ul>
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		50・大修館	第3,4学年 第5,6学年	保健・308 保健・508	新 小学校ほけん 3・4 新 小学校保健 5・6
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<p>○ 「健康な生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～自分の生活についてイラストを基に振り返り、友達と話し合ったり、空気の流れについての実験結果を基に換気の大切さについて考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～1年間ごとの身長伸びをグラフにして調べたり、思春期に起こる心の変化についてイラストを基に類似した経験を想起したりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～心の働きが年齢とともにどのように変化してきたのかを話し合ったり、不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を行ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「けがの防止」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～資料を基に交通事故を防ぐための方策を考え、その理由について話し合ったり、けがの簡単な手当の仕方を知り、実習を行ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「病気の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～病気になった要因について自分の生活を振り返って考え、資料を活用して整理したり、学習したことを基に感染症を予防する方法について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～体の発育・発達の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「考えよう」で自分の食品の摂り方のバランスについて資料を基に考え、「話し合おう」で例示された朝食のメニューに追加する一品を選び、その理由について話し合うなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 第5,6学年～病気の予防の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べよう」で虫歯や歯周病の起こり方について資料を基に調べ、「話し合おう」で例示された2人の生活の仕方の違いに注目して、虫歯になりやすい生活の仕方について気付いたことを話し合うなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～体の発育の仕方と個人差について学習した後、思春期の体つき、発毛や変声などの変化についての学習を位置付け、思春期の体の働きの変化についても同様の学習ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～感染症の予防について学習した後、身近な生活習慣病として</p>			

	<p>虫歯や歯周病の予防についての学習を位置付け、心臓病や脳卒中等の生活習慣病の予防について広げて考えられるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。  第3,4学年～「健康な生活」は、16ページ、「体の発育・発達」は、20ページであり、総ページ数は50ページとなっている。  第5,6学年～「心の健康」は、16ページ、「けがの防止」は、22ページ、「病気の予防」は、28ページであり、総ページ数は74ページとなっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 身近な生活の中から健康課題を発見する活動を設定したり（全学年）、考えたことを表現できるよう教科書に書き込みスペースを設けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 友達と話し合い、互いの考えを共有する対話的な活動を示したり（全学年）、自分の生活を見直すなどして自己の課題を修正する活動を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを採用し、視認性と可読性を高めたり（全学年）、様々な色覚の特性に対応したり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーション、ウェブクイズを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、「体の成長」で北海道幕別町出身のスピードスケート選手・高木美帆の話、「よりよい成長のために」で旭川市の給食の解説、「けがの防止」で札幌市のユニバーサルデザインのスロープなどを扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、「タブレットを使って楽しく学ぼう！」で、効果的な学習方法を解説するとともに、「資料」のページで、タブレットと健康の関係などについて取り上げる工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携については、「もっと学びを広げよう！深めよう！」などで、「命を救うAED」、「エイズ」、「がんはどんな病気？」、「喫煙の害」、「薬物乱用の害」を掲載し、系統性のある指導ができる配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう、「考えよう」、「話し合おう」、「調べよう」、「生かそう・伝えよう」などの学習段階を設定し、課題の解決に向けた活動場面を設ける工夫がなされている。</p> <p>○ 日常生活と関連することができるよう、「課題をつかもう」において身近な生活の中から課題を発見し、保健の見方・考え方を働かせながら思考できる工夫がなされている。</p> <p>○ 新たな健康課題へ対応することができるよう、「心の健康」で、不安や悩みへの対処方法を掲載するとともに、「もっと学びを広げよう！深めよう！」で、「新型コロナウイルス」、「がんはどんな病気？」を掲載し、理解を深める配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		207・文教社	第3,4学年 第5,6学年	保健・309 保健・509	新わたしたちのほけん 3・4 新わたしたちの保健 5・6
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<p>○ 「健康な生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～1日の生活のリズムについて調べ、健康と生活の仕方の関わりについて考えたり、学習したことを振り返り、生活環境を整えるために心がけることを考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～自分の身長の変化や発育の仕方の違いについて調べたり、思春期における異性への関心の芽生えについて資料を基に考え、話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～不安や悩みについて自分の経験を振り返り、資料を基に要因などを調べたり、自分に合った不安や悩みへの対処方法について学習したことを基に考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「けがの防止」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～けがの発生原因についてイラストやグラフを基に考えたり、けがの簡単な手当の実習を行った後、けがをしたときの例示を基に実際の状況判断の仕方を考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「病気の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～病原体が原因で起こる病気について感染の道筋を資料で調べたり、生活習慣病の予防の仕方について調べ、これからの生活で心がけることを考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～健康な生活の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「Mission1」で部屋の明るさなどの事例を基に生活環境が体に及ぼす影響について考え、「Mission2」で生活環境を整えるためにこれからの生活で心がけることを記述するなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 第5,6学年～心の健康の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「Mission1」で不安や悩みについて今までの経験を振り返ったり、資料を基に調べたりし、「Mission2」で不安や悩みへの対処の方法を調べたり、相談方法について話し合ったりするなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動</p>			
内容の構成・		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～毎日の生活の仕方や身の回りの環境について学習した後、生活環境を整え健康な生活を送るための目標を考え、伝え合う学習活動を位置付け、目標を意識して生活を送ることができ</p>			

<p>排列，分量等</p>	<p>るようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～喫煙が人体に及ぼす影響について学習した後，たばこを勧められたときの対処について考える学習活動を位置付け，飲酒や薬物乱用の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～「健康な生活」は，18ページ，「体の発育・発達」は，18ページであり，総ページ数は38ページで，前回より約12%増となっている。</p> <p>第5,6学年～「心の健康」は，18ページ，「けがの防止」は，26ページ，「病気の予防」は，36ページであり，総ページ数は84ページで，前回より約56%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 授業の導入において，児童が健康課題を自分事として共感して捉えやすい吹き出しを示したり（全学年），次の時間へのつなぎとして，継続した思考を促す内容を示したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 単元のまとめとして，自分が考えた目標の達成に向けて，これから何が必要なかを考える活動を示したり（全学年），考えたことを伝え合う活動を示したり（全学年）するなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 書体や文字の大きさ，色についてユニバーサルデザインの観点に配慮したり（全学年），読みやすく分かりやすいレイアウトにしたり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，動画やデータを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○ 地域素材については，「交通事故の防止」で全国の交通事故の死者数と負傷者数で，北海道の地図を扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，「もっと考えよう課（発展）」で，SNSのトラブルについて取り上げ，話し合う場面を設定したり，被害について紹介する工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携については，「もっと考えよう課（発展）」などで，「AED」，「エイズとは」，「がんになるリスクを下げよう」，「煙の中の有害物質」，「薬物乱用の害」を掲載し，系統性のある指導ができるよう配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の学習の状況等</p>	<p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう，「Mission」，「Stage」，「Clear」，「Complete」などの学習段階を設定し，課題の解決に向けた活動場面を設ける工夫がなされている。</p> <p>○ 日常生活と関連することができるよう，「本時のMenu」で，学習を3段階に分け，活動することを通して自分の考えをもち，日常生活の課題に結び付けるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 新たな健康課題へ対応することができるよう，「心の健康」で，不安や悩みへの対処方法を掲載するとともに，「もっと考えよう課（発展）」で，「新型コロナウイルス」，「がんになるリスクを下げよう」を掲載し，理解を深める配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	



観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		208・光文	第3,4学年 第5,6学年	保健・310 保健・510	小学ほけん 3・4 小学保健 5・6
取扱内容  学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標, 内容 等		<p>○ 「健康な生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～1日の生活の仕方について、資料を比較して話し合ったり、学習したことを振り返り、生活環境を整えるための取組やその理由を書いたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～1年間ごとの身長伸びをグラフにして調べたり、学習したことを基に体をよりよく発育させるための生活の仕方について考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～心と体の関係について心が体に影響する事例や自分の経験を基に考えたり、不安や悩みへの対処の方法として深呼吸の仕方の実習を行ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「けがの防止」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～けがや事故の原因について事例やデータを基に考えたり、自分でできる手当の仕方について実習を行い、けがにあった適切な手当の手順を考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「病気の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～自分の生活を振り返り生活習慣病の予防の仕方について調べたり、学習したことを基に感染症を予防する方法について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～健康な生活の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べよう・考えよう」で手の汚れや手洗いの効果について資料を基に調べたり、考えたりし、「話し合おう」で衣服などを毎日清潔なものに取り替える理由について話し合うなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 第5,6学年～病気の予防の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べよう」でむし歯や歯周病の起こり方について資料を基に調べ、「学んだことを生かそう」でむし歯を予防するためにこれから取り組みたいこと考え記述するなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動</p>			
内容の 構成・ 排列, 分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～体の発育の仕方と個人差について学習した後、思春期において体の外に現れる変化や個人差についての学習を位置付け、体の中に現れる変化についても同様の学習ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～危険の予測と安全な行動について学習した後、交通事故の防止について、人の行動と環境に分けて考える学習活動を位置付け、犯罪被害の防止の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3,4学年～「健康な生活」は、16ページ、「体の発育・発達」は、18ページであり、総ページ数は42ページで、前回とほぼ同様となっている。</li> <li>第5,6学年～「心の健康」は、14ページ、「けがの防止」は、18ページ、「病気の予防」は、26ページであり、総ページ数は66ページで、前回とほぼ同様となっている。</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各章の扉に学習のイメージがつかめる漫画を掲載したり（全学年）、各項目末の「学んだことを生かそう」で学習したことを自分の生活に生かす視点で記述することができるようにしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 毎時間の導入で児童が学習内容を自分のこととして捉えることができる問いを示したり（全学年）、他者に伝える活動を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 読みやすいユニバーサルデザインフォントを用いたり（全学年）、カラーユニバーサルデザインの視点で配色したり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、動画や資料、ウェブサイトの情報を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
指導上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域素材については、「自然災害から身を守る」で、そのほかの自然災害として、大雪を扱っている。</li> <li>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、「さらに広げよう深めよう」で、「スマートフォンなどの使い方と生活のリズム」を掲載し、スマートフォンと睡眠の質の関係を解説する工夫がなされている。</li> <li>○ 小中連携については、「さらに広げよう深めよう」などで、「心肺蘇生とAED」、「エイズ」、「がん」、「喫煙」、「飲酒」、「薬物乱用」を掲載するとともに、中学校での学習内容を明記し、系統性のある指導ができる配慮がなされている。</li> </ul>
本市児童の 学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう、「見つけよう」、「調べよう」、「話し合おう」、「考えよう」、「学んだことを生かそう」などの学習段階を設定し、課題の解決に向けた活動場面を設ける工夫がなされている。</li> <li>○ 日常生活と関連することができるよう、導入では、数枚のイラストから児童が自分の生活を振り返って自身の健康課題に気づき、終末では、学習したことを実生活や実社会で生かす実践力を養う活動場面を設定する工夫がなされている。</li> <li>○ 新たな健康課題へ対応することができるよう、「心の健康」で、不安や悩みへの対処方法を掲載するとともに、「さらに広げよう深めよう」で、「新型コロナウイルス」、「『がん』のことを知ろう」を掲載し、理解を深める配慮がなされている。</li> </ul>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		224・学研	第3,4学年 第5,6学年	保健・311 保健・511	新・みんなのほけん 3・4 新・みんなの保健 5・6
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<p>○ 「健康な生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～例示された2人の1日の生活の仕方を比べ、健康な生活の仕方について考えたり、部屋の中の空気の様子についての実験結果を基に換気する理由を話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～思春期に起こる体の変化や男女の違いについて調べたり、給食の献立を調べ、栄養のバランスについて考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「心の健康」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～心と体が密接に関係している事例を基に自分の経験を振り返ったり、不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を行ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「けがの防止」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～けがの発生原因についてイラストやグラフを基に考えたり、事故を防ぐための工夫や努力の例が役立つ理由について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 「病気の予防」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第5,6学年～病原体が要因となって起こる病気について、自分の経験を振り返ったり、生活習慣病の予防について資料を基に調べ、話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～健康な生活の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「理由について話し合う」で部屋の明るさや換気など生活環境の大切さについて話し合い、「学びを生かす」で改善が必要な事例を基に教室や部屋の環境を整える方法を考え記述するなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 第5,6学年～心の健康の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「意見を出し合う」で不安や悩みを抱えたときに自分で行えそうな対処について資料を基に考え話し合い、「学びを生かす」で友達との話し合いで参考になった対処の方法を考え記述するなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～体の発育の仕方と個人差について学習した後、体つきの変化と個人差について話し合い整理する学習活動を位置付け、体の中で起こる変化についても同様に個人差があることに気付くことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～生活習慣病と喫煙の関係について学習した後、喫煙が与える</p>			

	<p>心身への影響について調べ、長期間にわたる喫煙の影響について話し合う学習活動を位置付け、飲酒の害の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3,4学年～「健康な生活」は、20ページ、「体の発育・発達」は、20ページであり、総ページ数は50ページで、前回より約32%増となっている。 第5,6学年～「心の健康」は、19ページ、「けがの防止」は、25ページ、「病気の予防」は、40ページであり、総ページ数は90ページで、前回より約55%増となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 保健の学習を身近に感じることができる資料を掲載したり（全学年）、「もっと！知りたい・学びたい」で、児童が興味・関心に沿って選択的に学習できるようにしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 日常生活を振り返り、健康との関係を考える活動を示したり（全学年）、身近な生活にある課題などに対して学習したことを活用する活動を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用して誰もが読みやすいよう視認性を高めたり（全学年）、レイアウトやデザイン、配色に配慮したり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、「喫煙の害」で、札幌市の喫煙制限区域のステッカー、「飲酒の害」で、北海道の飲酒運転防止のポスター、「もっと！知りたい・調べたい」で、旭川市の喫煙防止・飲酒運転撲滅キャンペーンなどを扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、「もっと！知りたい・調べたい」で、タブレットを使うときの注意点などや、「情報を活用して発信しよう」で、パソコンを使って学習をまとめる方法などを紹介する工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携については、「もっと！知りたい・調べたい」で、「胸骨圧迫とAED」、「エイズ」を掲載し、「ほけんのはこ」で、「がん」、「たばこの有害物質」、「医薬品の正しい使い方」を掲載するとともに、中学校での学習内容を明記し、系統性のある指導ができる配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう、「ふり返る」、「資料を読み取る」、「話し合う・整理する」、「学びを生かす」などの学習段階を設定し、課題の解決に向けた活動場面を設ける工夫がなされている。</p> <p>○ 日常生活と関連することができるよう、「ふり返ろう・予想しよう」で、学校の様子など大きな写真を通して、生活と健康の関係を身近に感じられる工夫がなされている。</p> <p>○ 新たな健康課題へ対応することができるよう、「心の健康」で、不安や悩みへの対処方法、いじめについて考させるページを掲載するとともに、「ほけんのはこ」で、「新型コロナウイルス」、「『がん』って、どんな病気？」を掲載し、理解を深める配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	